

点検ドローン、飛行安定化 プロペラ軸に「穴」 急な推力上昇抑制

東急建設と東京都市大学は26日、飛行ロボット（ドローン）向けに、橋桁や天井など構造物の上壁近くでの飛行を安定させる技術を開発したと発表した。プロペラの軸部分に貫通孔を設け、上壁近くで生じる急激な推力上昇を抑制。ドローンが制御不能となって衝突し、損傷・墜落する課題を解消する。屋内や構造物近くで行う各種点検や軽作業での活用を想定する。

両者が開発したプロペラによって、上壁近くの推力上昇を従来に比べ20%抑制した。プロペラは単純な構造とすることで作製を容易にし、既存のドローンにも適用しやすいよう工夫した。あらゆる大きさや形状のプロペラに対応可能で、小型だけでなく大型ドローンにも採用できるという。農業や物流、防災、建設業などでの社会実装を後押しする。

東急建・東京都市大が技術